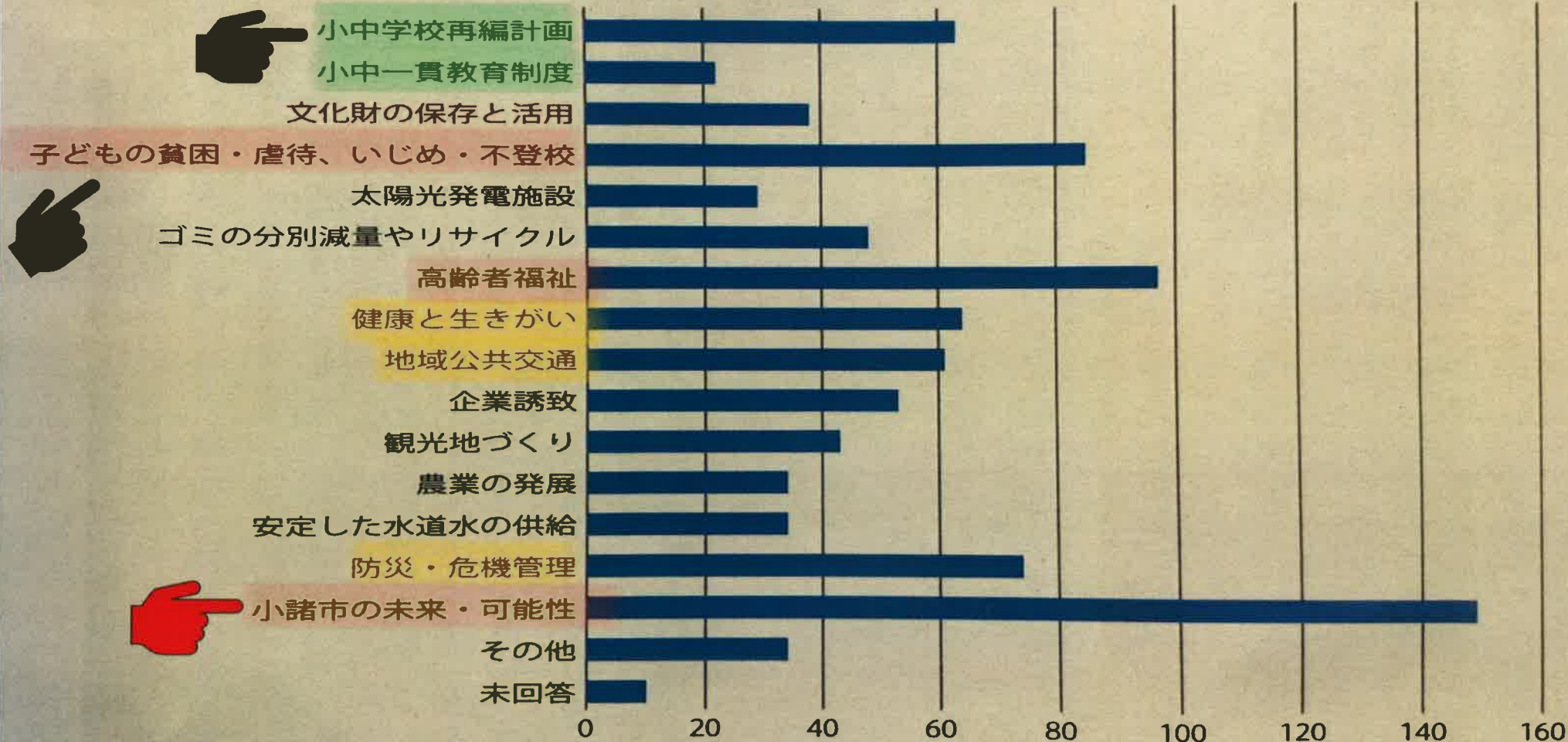


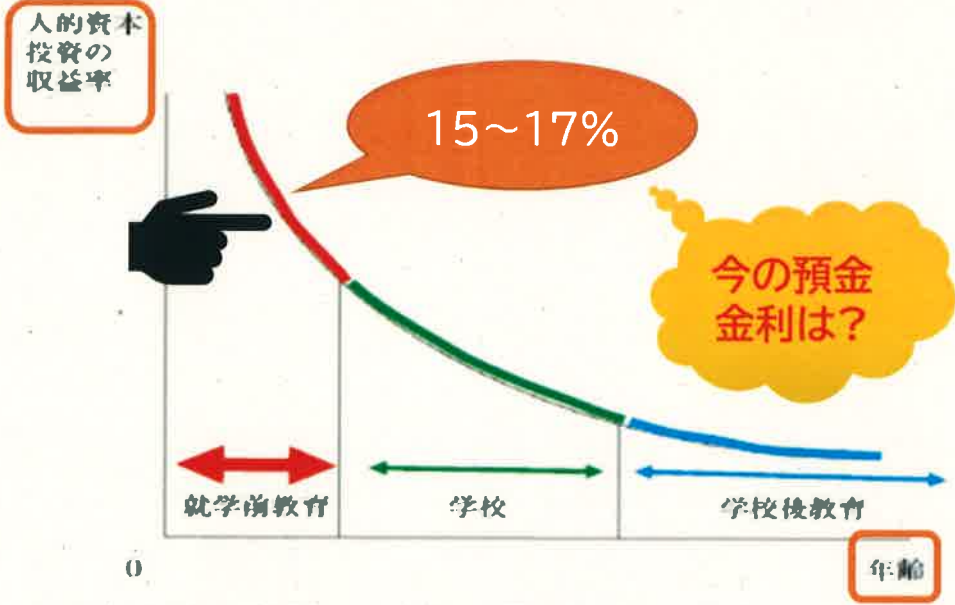
どのようなテーマで意見交換をしたいか

※複数回答可



日本総研 主任研究員 池本美香氏の論文より

(図表2) 子どもの年齢別にみた人的資本投資の社会的収益率



(資料) OECD, (2006, p.38) の図表をもとに作成。

### ジェームズ・ヘックマン教授

【シカゴ大学/ノーベル経済学賞受賞】

- 就学後の教育の効率性を決めるのは、**就学前の教育**にある。
- 就学前に適切な教育環境を与えられない場合、就学後に学習意欲を高めることは難しく、教育投資の効果は限定的なものになる。
- **就学前の教育**は、就学後の学力の伸びにプラスに作用しただけでなく、40歳になった時点で高校卒業率や持ち家率、平均所得が高く、また婚外子を持つ比率や生活保護受給率、逮捕者率が低いという結果が得られた。
- **就学前教育**を行ったことによる社会全体の投資収益率を調べると、**15~17%**という非常に高い数値となり、「通常の公共投資ではあり得ないほどの高い投資収益率」である。

5歳までのしつけや環境が人生を決める  
 人生を決定づけるのは「潜在能力」(非認知スキル)  
 IQを高められるのは幼児期だけ



**「質」の良い保育所の整備が社会に安定をもたらす！！**



# 千代田区立 麹町中学校 【話題の取り組み】



- **クラス担任制(権限と責任が明確化)の廃止** → **学年担任制 (チーム教育)** ※長野市でも2校導入
  - 教師・クラスの優劣比較が無くなる、教師の個性が生徒に選ばれる、教師は時差通勤可能(教師の働き方改革)
  - 生徒に問題が発生したら全員でサポート、一番 信頼関係性のある教師が担任



- **定期テスト・宿題の廃止** → **再テスト制 (再テストの結果が成績)**

**フィンランド式**  
試験のない学びの場  
どうしたら勉強時間を減らせるか  
(子ども版 働き方改革)

- **AI(人工知能)による数学指導 (理科、社会、英語も今後導入予定)**
  - 苦手箇所が繰り返し出題、生徒同士の学び合い活発、学びのスピードが速まる(1/2~1/7)
  - 成績アップ、授業での教員の役割減

- **服装・頭髪指導の廃止** 「自律」…自分で考えて、判断し、決定し、行動する
  - 「『自律』した生徒を育成する」ことに教師は時間を使おう
  - PTA 主催制服リニューアルコンペ(経済的で、機能的であること)

- **目的・目標の明確化** 「最上位」目標は何か！
  - 運動会・文化祭 → すべての生徒が楽しめる、観客を楽しませる(vs 団結・競争)
  - 体育・音楽・美術 → 採点をやめよう

- **外部プロ人材による指導体制(アフタースクール)**
  - プログラミング、スポーツ、料理、数学オリンピック講座、屋上農場経営  
校長によるリーダー養成講座、アナウンスサークル(他者を意識した話し方技術)

3年生になると  
【大人のことが好きな】  
生徒になる  
不登校が減る

【麹町中学校の教育目標】 自律、尊重、創造

学校に、新しい「学びの指標」を導入します！

幸福の実感

個人と社会の Well-being の実現

**Well-being** とは、一人ひとりが心身の潜在能力を発揮し、人生の意義を感じ、周囲の人との関係のなかで生き生きと活動している状態のことであり、近年 OECD やユネスコでも教育の達成目標として重視している。

長野県教育委員会では、現在、幼保小中高一貫した「学びの改革」を進めています。学習者である子どもたちが主体となる学びへと**転換**を図り、探究的な学びや、個別最適な学び、協働的な学び等を推進することにより、これからの時代に必要とされる資質・能力を子どもたちに育てていきたいと考えています。この「学びの改革」の一環として、令和元年(2019年)10月に、外部有識者や県内中学校・高等学校長等からなる「学びの指標検討会」を立ち上げ、県立中学校・高等学校の生徒の「学びの成果」を確認するための指標のあり方について検討してきました。

長野県教育委員会として、検討結果を受け、取りまとめたのが、この新しい「学びの指標」です。

**新しい「学びの指標」とは、他の生徒と比較し、相対的に生徒をみることや、相対的な評価に価値を置くことを排し、**生徒一人ひとりに着目し、その現状をそのまま受け止めて受容するとともに、変容や成長を見逃さず、支援していくものです。

この指標が導入・活用され、その趣旨をよりよい形で実現するための不断の改善を通して、学校が、生徒一人ひとりの存在や人権、個性が大切にされ、生徒が生き生きと学ぶことのできる空間となるとともに、すべての生徒・教員にとって居心地のよい、活力に満ちた学びの空間となっていくことを期待しています。

令和2年12月  
長野県教育委員会



## ～「より望ましい学校の姿」の実現を図る学校運営のあり方～

「小諸市学校教育審議会」の答申より

(抜粋)

## 現状

加配の先生も加わり宿題を点検している！

## 検証

これまで長きにわたって教科や学級が“一人の教師”の指導に任されてきた歴史の中で、全教職員が学校の重点目標に向かって、「どのように目標が達成できたのか、あるいは出来なかったのか」「何が育ったのか」を問い続ける体制づくりが進んできているかといえ、必ずしもそうではなかった！

## 提言

全ての児童生徒を対象とした不登校の「未然防止」の取組が望まれる！

## 提言

学級を一人担任制とせず、複数担任制、学年担任制にしたり、チームとして取り組む先進事例を導入するためには…！！

一人一人の学びを支える教育への「転換」が求められる！！